

第1回 佐屋小学校準備委員会 会議録

開会日時 令和6年9月18日(水) 午後1時59分
閉会日時 令和6年9月18日(水) 午後3時47分
場 所 愛西市役所 南館1 会議室1-3、1-4

■ 出席委員

有識者	鈴木賢一
日置町総代(佐屋小学校区)	佐藤光男
落合町総代(佐屋小学校区)	石原一孝
佐屋小学校学校評議員	岩田有司
佐屋小学校学校評議員	中島悦夫
佐屋小学校PTA	下里亘
佐屋小学校PTA	岩佐浩司
未就学児保護者	成田亜耶
未就学児保護者	永森文子
佐屋小学校校務主任	神内景子
(佐屋小学校校長代理)	

■ 事務局

教育委員会	教育部長	佐藤博之
	教育部次長	飯田裕子
	学校教育課長	伊藤光
	学校教育課主幹	伊藤昭良
	学校教育課課長補佐	坪井靖史
	学校教育課主査	水谷繁夫
	学校教育課主事	大橋勇輝
	学校教育課主事	祖父江悠里

■ 傍聴者 0名

1. 開会
2. あいさつ
3. 委員長、副委員長の選任について
4. 諮問
5. 議事
 - (1) 委員会設置の目的について
 - (2) これまでの経緯と現状
 - (3) 今後のスケジュールについて
 - (4) 検討部会について
 - ①検討部会設置の目的及び検討内容について
 - ②各検討部会員の選出
 - ③検討部会の日程調整
 - ④その他
6. 閉会

<p>(学校教育課長)</p>	<p>本日はご多用の中、定刻までにお越しいただきありがとうございます。本日、進行を務めさせていただきます、学校教育課長の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。ただ今より、令和6年度第1回佐屋小学校準備委員会を始めます。当会議におきましては、「愛西市審議会等の会議公開に関する要綱」の規定により、公開の会議となります。なお、本日の傍聴の方については、お見えになっておりません。また、本会議では、オブザーバーとして愛西市教育委員会の難波委員が同席しておりますので、ここでご報告いたします。最後に、当委員会議事録作成のため、事務局も録音をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、本日配布の会議資料について、ご確認をお願いいたします。配布資料として、次第、準備委員会等設置要綱、説明資料、資料1「施策1佐屋小学校準備委員会について」、資料2「佐屋小学校耐力度調査について」、資料3「施策1佐屋小学校の老朽化対策スケジュール(案)」、資料4「施策1佐屋小学校準備委員会検討部会について」、①から⑩までの資料を綴じたファイル、諮問書の写しとなっております。不足がありましたらお知らせください。</p> <p>《不足なし》</p>
<p>(学校教育課長)</p>	<p>それでは、次第の2.あいさつとしまして、愛西市教育委員会教育長、河野正輝よりご挨拶を申し上げます。</p>
<p>【教育長】</p>	<p>ご紹介いただきました愛西市教育委員会教育長の河野正輝と申します。本日は大変ご多用の中、皆様におかれましては、佐屋小学校準備委員会にご出席いただきまして、厚くお礼申し上げます。愛西市教育委員会では、令和6年3月に、愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画を策定しました。5つの施策のうち、最初に取り組むのが本委員会に託された、佐屋小学校の老朽化対策です。この頃、相変わらず秋が行方不明といった、年々厳しさを増す猛暑、異常気象を表した言葉を耳にしますが、自然現象の厳しさと向き合いながら、この先の人生百年時代を生き抜く子どもたちに、学校は楽しいところ、明日もまた来たいと語ってもらえるような魅力ある教育環境を、出来る限り整えてあげたいと思っております。また、地域においては、震災による液状化や浸水、ライフラインに強い、安全で頑強な防災の拠点、避難所であり、さらに地域のコミュニティの拠点となりうる学校であるべきだと考えます。ここで、佐屋小学校の特徴を3つほどご紹介したいと思います。実は、佐屋小学校のグラウンドにある海拔0メートルの表示が、私の鼻の上辺り</p>

	<p>にあります。マイナス1.6メートル地帯と言えます。佐屋小学校には、昭和34年の伊勢湾台風時に、隣の佐屋中学校の、完成したばかりのプールが水没した写真が残っております。現在578人の児童が通う、市内で最も児童数が多い小学校です。人数が多い分、日常使うトイレや扉、廊下など、建物内部の消耗、痛みが、他校に比べて激しいものがあります。周囲には市役所、市文化会館、市中央図書館、佐屋スポーツセンターのグラウンド、保健センターなどがあり、佐屋中学校が隣接するなど、生活環境が充実しているかと思えます。こんな特徴を持った佐屋小学校ですが、本準備委員会、検討部会では、50年先に作ってよかったと評価される施設設備、教育環境、地域の学校づくりについて、委員の皆様様の様々な視点から、多くの貴重なご意見をいただければ幸いです。この先には、市の財政との厳しい調整があるわけですが、準備委員会委員の皆様と、新たな佐屋小学校の礎を築いていければと思っております。どうかよろしく願いいたします。簡単ですが、挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
<p>(学校教育課長)</p>	<p>ありがとうございました。続きまして、次第の3.委員長、副委員長の選任についてとなりますが、本日、最初の会議でございますので、本来ならば選任の前に、委員の皆様方からお名前をご頂戴したいところですが、会議時間の都合上、お手元の名簿でご紹介に代えさせていただきます。では、委員長・副委員長の選出を始めます。「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画に係る準備委員会等設置要綱第6条」において、委員長及び副委員長を置くとなっており、選出に当たっては、委員の互選となっております。委員の皆さんからの立候補あるいは、ご推薦をお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>委員長に鈴木様、副委員長に石原様を推薦します。</p>
<p>(学校教育課長)</p>	<p>今、委員長に鈴木様、副委員長に石原様を、というお声がありましたが、よろしいでしょうか。</p> <p>《委員異議なし》</p>
<p>(学校教育課長)</p>	<p>ご承認をいただきましたので、委員長には鈴木様、副委員長には石原様に決定させていただきます。よろしく願いいたします。それでは、委員長・副委員長が決まりましたので、席の移動をよろしく願いいたします。</p>

	<p>《席移動》</p>
(学校教育課長)	<p>それでは、お二方よりご挨拶をいただきたいと存じます。まずは委員長の鈴木様をお願いします。</p>
(委員長)	<p>こんにちは。たった今ご紹介いただきました、名古屋市立大学の鈴木と申します。私は、建築計画の分野の研究に携わっておりまして、各地の病院や学校の建設のお手伝いをさせていただいております。愛西市も市庁舎を建て替える際にお世話になり、その後、色々とお声がけいただいております。数年前の愛西市小中学校施設老朽化対策検討委員会で、全ての学校を視察させていただきました。驚くような老朽化の状況で、一刻も早く、子どもたちのために良い環境をとった次第であります。今回の学校も最初のモデル校になるのではないかと考えておりますので、皆さんのお知恵をお借りしながら、進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
(学校教育課長)	<p>ありがとうございます。続いて、副委員長の石原様をお願いします。</p>
(副委員長)	<p>落合町総代の石原一孝といいます。前回もこういった老朽化の関係の会議にもご参加させていただきましたが、今回、次のステップへということですので、大いに皆さんと議論していきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
(学校教育課長)	<p>ありがとうございます。続きまして、次第の4 諮問に移ります。委員会を代表して鈴木委員長、河野教育長中央へお願いいたします。</p>
	<p>《教育長から委員長へ諮問書交付》</p>
(学校教育課長)	<p>ありがとうございます。次第の5 議事に移ります。ここからの進行についてですが、「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画に係る準備委員会等設置要綱第7条」に従いまして、委員長がその会議の議長となる。となっております。鈴木委員長、進行をお願いいたします。</p>
(委員長)	<p>それでは、次第の5.議事に入ります。初めに（1）委員会設置の目的について、事務局より説明を伺いたいと思います。よろしく願いいたし</p>

	ます。
(事務局)	<説明>
(委員長)	委員の皆様、何かご意見等ございましたら、お伺いしたいと思います。 いかがでしょうか。
	<<意見無し>>
(委員長)	(2) これまでの経緯と現状について、事務局より説明をお願いします。
(事務局)	<説明>
(委員長)	委員の皆様、何かご質問やご意見がございましたら、よろしくお願いたします。
(委員)	子どもたちの学びの場である学校なのですが、地域の避難場所としての機能も当然あるかと思えます。愛西市の市議会の方の回答を聞いておきますと、市は、小中学校を避難場所として考えていると言っていました。先ほどの説明を聞いてみると、体育館は避難場所であるというお言葉がありました。校舎に関してはどの程度考えてみえますか。また、佐屋小学校の校長先生よりお聞きしたのは、浸水問題の時にこんなことが起こってはいけないということで、市に対応を依頼したということでしたが、進捗状況をお伺いしたいと思います。
(委員長)	では、事務局より回答をお願いします。
(事務局)	ご質問ありがとうございます。まず1点目、おっしゃる通り、体育館は避難所です。また、状況によっては、校舎の中に避難することも考えられます。昨年または、一昨年の大雨の際、体育館に空調が無いため、避難される方の体調を考慮し、校舎の中に避難するという予測の元、学校の先生にご連絡し、すぐに体制を整える準備をさせていただきました。ですので、校舎に関しても、状況に応じては避難所となりえるというのが、現時点での回答となります。2点目、浸水に関してですが、おっしゃる通り、先生方に大変なご苦勞をおかけしている状況です。実際に工事で何とかしようとする、大々的な工事になってしまいます。グラウンドを下げたり、校舎を上げるなどの工事になるかと思えます。水

	<p>の逃げ道を作るという案もありますが、とんでもない量の水路が必要になると予想されますので、中々現実的ではありません。佐屋小学校については、愛西市小中学校施設老朽化対策委員会から、早急に老朽化対策を実施すること、という提言をいただいております。まずは、水をせき止めたりするような道具を準備できないかということで、防災関係、シャッター関係の業者に聞いて、チャレンジをしていただきましたが、何百万単位のものしか出てこず、そこで止まっている状況です。これからも様々な業者に聞き、また、ホームページを確認し、探していきたいと考えておりますが、現状は中々ちょうど良いものが見つからないという状況です。以上です。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>(委員)</p>	<p>有事の際に佐屋小学校に避難されるのは、北一色町の世帯数が多いですよ。須依町に関しては、佐屋西小学校へ避難される方もいるかもしれません。日置町や柚木町に関しては、一時避難所が農協の2階や、佐屋北保育園の2階とされていますが、いつ取り壊されるのか分からないという状況ですよ。ある議員の方より議会で、佐屋小学校区の住民の方たちの避難場所として、新たにコミュニティ施設を兼ねた防災施設を作ってもらえないかという質問がありました。その際の回答は、全く考えが無いという内容の返答でした。近くの小学校、中学校で十分収容できるという返答でしたので、その辺りを考えた学校を作っていく必要があると思っております。</p>
<p>(教育部長)</p>	<p>中学校の体育館については、議会で空調の設置に関する予算をお認めいただいたところでございますが、小学校についても、現状空調がついておりません。避難される市民の方の体調、熱中症等を考慮して、文化会館、佐織公民館を開放し、避難時の体調管理、熱中症防止策に取り組んでいるということをご報告させていただきます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>台風に関しては、そういった対応が良いかと思いますが、地震などでの浸水などを考えた際に、かなりの人数の収容スペースを考えていく必要があるかと思いますが。南海トラフがどの季節に起きるかということは予測ができませんので、夏場であれば、エアコンのない部屋では考えられません。その辺りも含めて、施設を充実させていく必要があると思えます。南海トラフの地震の間隔は、昨今では100年から150年間隔で起きています。前回は1946年なので、あと10年から20年の間、</p>

<p>(教育部長)</p>	<p>特に警戒しなくてはならないと思っております。</p> <p>この地域は海拔0メートル地帯であります。なおかつ、大雨が降った場合の佐屋小学校に関して言えば、1階の教室に雨水が浸水しているという現状があります。皆様方におかれましては、避難所としての役割を考えたときに、また、海拔0メートル地域ということ考えたときに、3階建てのままで良いのかということも含めてご検討いただきたいと考えております。ただ、4階建てにした場合は、ご近所の方に対する日照権の問題も出てきますので、その点については、事務局より委員の皆様へ情報をご提示させていただき、皆様にご協議いただきたいと考えております。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>今、各地で改築される学校について、同様の内容の検討がされております。高床式の校舎を作っているところもございます。また、体育館を2階以上に作り、体育館には少なくとも水が来ないようにしているところもございます。先進事例がございますので、事務局より資料の提供をしていただき、皆様にご検討いただければと考えております。その他、ご意見ございましたら、よろしく願いいたします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>私は今、日置町に住んでおりますが、周りを見ると、避難できる場所が中々ありません。一番高い建物はマンションになります。避難場所としては、小中学校といわれておりますが、実際にそこまで行けるかどうかという点と難しいと思います。自分自身でも、どう避難すればよいかと考える機会があります。今まで色々な仕事をしてきた中で、すごく良いなと思ったことがありました。津波の被害があった時に、まず被害を受けるのは、飛島村だと思います。飛島村の学校に伺ったときに、普段からの防災訓練だけではなく、防災コーディネーターの方を呼んで、すごくリアルな防災訓練をしていました。施設を改築する、新しくするというのは、莫大な費用がかかり、すぐにはできない事だと思いますが、リアルな避難訓練をする場所を設けるということもすごく重要なことだと思います。施設を改築する、防災の拠点にするということも大切なのですが、訓練について、別の観点から考えることも大事で、防災コーディネーターの方を呼んで、訓練をするということも良い案なのではないかと思いました。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>避難所に行ったは良いが、初めて行った場所で、一体どこに備蓄庫があるのか分からない、機能しないという事例があります。また、地域の方</p>

	<p>が校舎に入ると、学校の再開が遅れ、子どもたちが学校に来ることが中々できないということもあります。</p>
(教育部長)	<p>本市には、危機管理課という防災対策の専門課がございます。毎年様々な工夫を凝らした防災訓練を行っております。今回委員からお聞きした内容もきちんと伝えさせていただきます。</p>
(委員長)	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>《その他委員、意見無し》</p>
(委員長)	<p>児童数は減ってきておりますが、支援の必要な子たちは増えてきており、今まで校舎の端で教育を受けていた子たちに、中心で教育を受けていただけるようにしなければならないという状況です。また、先生方のウェルビーイングも重要になってきています。先生方が気持ちよく働けるような場所にもしていかなければならないと思います。それでは、(3)今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p><説明></p>
(委員長)	<p>ただいま事務局から、スケジュール案として、今年度と次年度以降のスケジュールが示されましたが、委員の皆様、何かご意見はありますでしょうか。</p>
(委員)	<p>先進地での事例で、築5、60年くらいの公共施設に対し、他県、他の自治体等、どのように対応しているケースが多いのか、お聞きしたいです。改修で対応しているところが多いのか、思い切って改築して、新しい学校を作っているところが多いのか、お聞きしたいです。私は、現状浸水するような施設ではどうなのかと思います。そのような基本的なことが安心できないと、子どもたちの教育環境を整えるということは難しいと思います。</p>
(事務局)	<p>ありがとうございます。まず、改修か改築かの判断に関する近隣の状況についてですが、現状、調べておりません。ただ、佐屋小学校の状況に関しては、建物の骨の部分、躯体の部分調査を行っております。改修になりますと、躯体を残し、作り変えることになりますので、躯体がだめになっていけば、そもそも改修という手段が取れないことになってしま</p>

<p>(教育部長)</p>	<p>います。躯体が大丈夫であれば、まずは改修という方法をまずは考えます。それ以降、学校の現在の施設が求められる機能に即しているのかどうか、という部分も含めて、総合的に判断し、最終的には教育委員会で改修か、改築かを決定します。今後の佐屋中学校と佐織西中学校についても、同じ調査をし、同じ流れで決定をしていきたいと考えております。委員がおっしゃる通り、安全ではない学校では、子どもたちや先生が学校で過ごすことが出来ないと思っておりますので、今出来る環境の整備を少しずつ行っているところでございます。</p> <p>令和4年3月の愛西市小中学校施設老朽化対策の検討委員会における提言書においても、佐屋小学校に関して、早期に改築計画を立てるべき、とのご意見をいただいておりますことから、基本計画の施策1として、佐屋小学校の老朽化対策を進めてまいりたいと考えております。まずは、調査の結果を皆様方にご提示させていただき、改築または改修についてご議論いただき、教育委員会に諮ったうえで、基本構想等に移っていきたいと考えております。佐屋小学校に関しては、愛西市における老朽化対策のモデル校という位置づけでありますので、基本構想の時点で様々なご意見をいただきたいと思いますと考えております。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>各地で、老朽化した建物を改築するか改修するかという点で悩まれているという話を聞きます。改修すると、改築に近いような費用がかかってしまうということになりますと、改築に動くことが多いです。ただ、あまりにも日本の今までの建築で、建てては壊しということを行っておりますので、出来るだけ二酸化炭素を出さないよう、材料を大切に使うという検討も進んできております。ただ、佐屋小学校については、少し手を加えただけではということ、私も思っております。調査の結果を皆様に披露していただき、方向性を検討していただくということで、よろしく願いいたします。他はいかがでしょう。</p>
<p>(委員)</p>	<p>施策2、3の統合に関しては、ある程度決まっているのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>ありがとうございます。5つの学校のうち、佐屋小学校に関して、今回お集まりいただいた皆様にご議論いただきたいと思いますと考えておりますが、施策2に関しては、佐屋中学校と立田中学校の再編に関して、佐屋中学校の施設に手を入れることになるかと思っております。施策3に関しては、八開中学校と佐織西中学校の再編に関して、佐織西中学校の施設に手を入れ</p>

	<p>ることになるかと思ひます。まだ、調査を行っておりませんので、改築か、改修かは決まっております。立田南部、立田北部小学校に關しても、今後再編をし、現在の立田中学校の場所に設置することを予定しております。立田中学校もその際に手を入れることになるかと思ひます。ですので、老朽化対策委員会よりいただいた提言書で、老朽化が進んでいるとされた学校に關しては、全て手を入れることになるかと思ひます。以上です。</p>
(教育部長)	<p>学校適正化並びに老朽化対策の計画については、令和6年3月に教育委員会で決定させていただきました。それに基づきまして、準備委員会を設置させていただくことを議会にお諮りし、準備委員会に係る費用に關しては、お認めいただきました。教育委員会としては、それぞれの施策に關して、準備委員会にて市民の方のご意見をいただきたいということで、現在取り組ませていただいております。</p>
(委員長)	<p>他はいかがでしょうか。</p>
	<p>《その他委員、意見無し》</p>
(委員長)	<p>それでは、(4) 検討部会の①検討部会設置の目的及び検討内容について、事務局より説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p><説明></p>
(委員長)	<p>ただいまの事務局の説明で、本準備委員会の検討部会を、施設・通学路部会と地域課題部会の2つにすること、教育や学校運営に關する検討事項が生じた場合は、施設・通学路部会で検討すること、通学路に關しては検討外とすること、以上3点が示されましたが、検討部会の役割なども含めて、委員の皆様、ご意見はありますでしょうか。</p>
	<p>《意見無し》</p>
(委員長)	<p>それでは、(4) 検討部会の②各検討部会員の選出について、事務局より説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p><説明> また、「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画に係る準</p>

<p>(委員長)</p>	<p>備委員会等設置要綱第 8 条第 3 項」後段に、「ただし準備委員会及び市教委が協議の上必要と認めた場合は、委員以外からも委嘱することができる」とあります。事務局としまして、本委員会の委員ではありませんが、学校施設を考える上で、現場の教職員からのご意見やお考えは重要であると考え、施設・通学路部会に佐屋小学校校務主任、地域課題部会に佐屋小学校教頭を部会員として、ご参加いただきたいと思いますので、ここにお諮りいたします。</p> <p>先ほど事務局より説明がありましたが、施設・通学路部会へ佐屋小学校校務主任、地域課題部会へ佐屋小学校教頭が部会員としてご参加いただくという案が出ましたが、検討部会員の選出に関することも含めて、委員の皆さまからご意見等ございますでしょうか。</p> <p>〈意見無し〉</p>
<p>(委員長)</p>	<p>ご承認いただけたという事で、「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画に係る準備委員会等設置要綱第 8 条第 3 項」に従い各部会の指名に移りますが、まずは、委員の皆様、希望する部会、本準備委員会あるいは検討部会・佐屋小学校への思いなどご意見があればお聞かせください。順番に指名させていただきます。</p>
<p>(副委員長)</p>	<p>施設・通学路部会でお願いしたいです。</p>
<p>(委員)</p>	<p>地域課題部会でお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>施設・通学路部会でお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>地域課題部会でお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>施設・通学路部会でお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>学校評議員という立場ですが、先ほどからの自分の発言を考えると、地域課題部会でお願いしたいと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>地域課題部会でお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>施設・通学路部会でお願いします。</p>

(委員長)	聞ききれなかったので、お聞きした皆様のご意見をもとに、各部会の会員につきまして、事務局より発表していただいてもよろしいでしょうか。
(事務局)	<各部会の編成発表>
(委員長)	委員の皆様、何かご意見はありますでしょうか。 《意見無し》
(委員長)	それでは、各部会員が決まりましたので、(4) 検討部会の③各検討部の日程調整について、只今より5分程度お時間をとります。部会ごとに分かれていただき、第1回の検討部会の日程調整をしていただきますようお願いいたします。 《部会ごとに日程調整》
(委員長)	時間となりましたので、最初の配席に戻っていただきますようお願いいたします。 《委員着席》
(委員長)	それでは、先ほどの各検討部会の日程調整の結果も含めまして、(5) その他について、事務局より説明をお願いします。
(事務局)	事務局から2点お伝えします。1点目は、準備委員会及び検討部会の次回開催予定日についてです。準備委員会は今年度、あと2回開催を予定しておりますが、次回、第2回の準備委員会は、令和6年11月7日(木)午後2時からです。また、先ほど各部会で決めていただきました第1回の検討部会についてですが、施設・通学路部会は、令和6年10月21日(月)午後2時から、地域課題部会は、令和6年10月17日(木)午後2時からです。 2点目は、小学校の視察について再度お知らせいたします。小牧南小学校の視察は、令和6年10月8日(火)午前9時に市役所東駐車場集合出発、佐屋小学校の視察は、令和6年10月10日(木)午前9時30分に佐屋中学校武道場前集合でお願いします。視察は、あくまでご希望される方のみになりますが、現時点でご都合等不明の方で、都合が付き参加をご希望される方は、9月27日(金)までに事務局へ

<p>(委員長)</p>	<p>ご連絡いただきますようお願いいたします。(5) その他については以上です。</p> <p>せつかくの機会ですので、委員の皆様、他にご意見等何か言い忘れた事などはありますでしょうか。</p> <p>《意見無し》</p>
<p>(委員長)</p>	<p>無いようですので、これを持ちまして、第1回佐屋小学校老朽化対策準備委員会を閉じさせていただきます。長時間にわたりありがとうございました。</p>